

ダム整備が効果を発揮 (北海道 桂沢ダム)

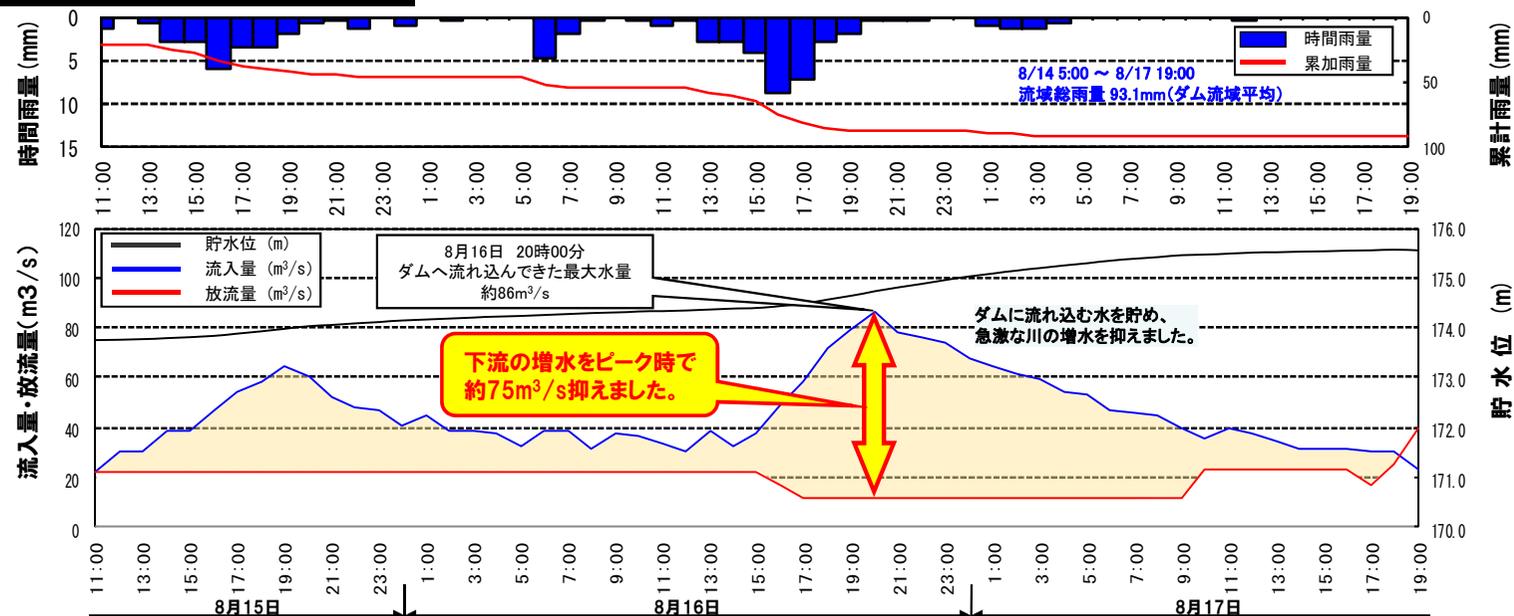
- 平成30年8月14日から大雨による出水により、桂沢ダムにおいては、洪水量を超える流入量を観測しました。
- このため、桂沢ダムでは、15日11時から17日19時までに、約548万 m^3 (札幌ドーム約3.5杯分)の水を一時的に貯留することで下流河川の水位低減を図り、下流の岩見沢市(西川向水位観測所)では、水位を約1.4m低減させたものと推測されます。
- 仮にダムが整備されていなければ、はん濫注意水位*を上回る出水となっていたことが推測されます。

* はん濫注意水位：河川のはん濫の発生を注意する水位。

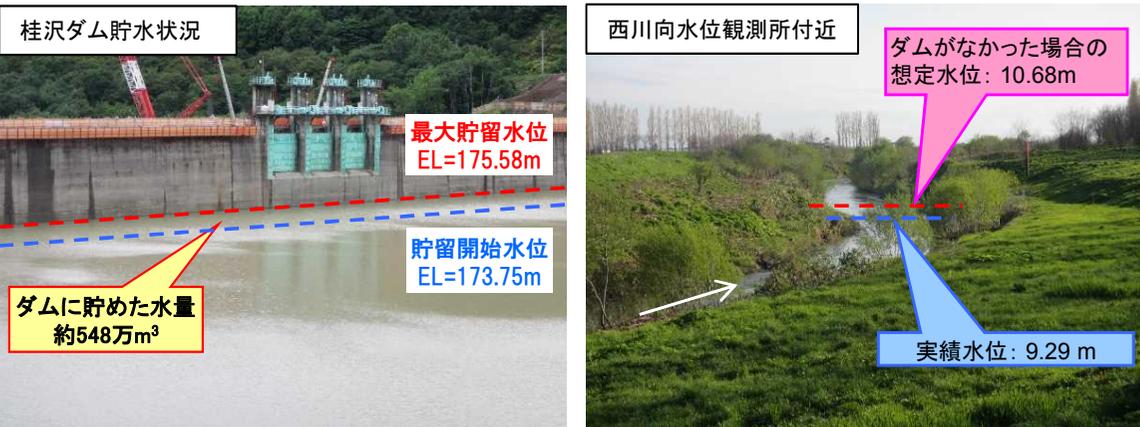
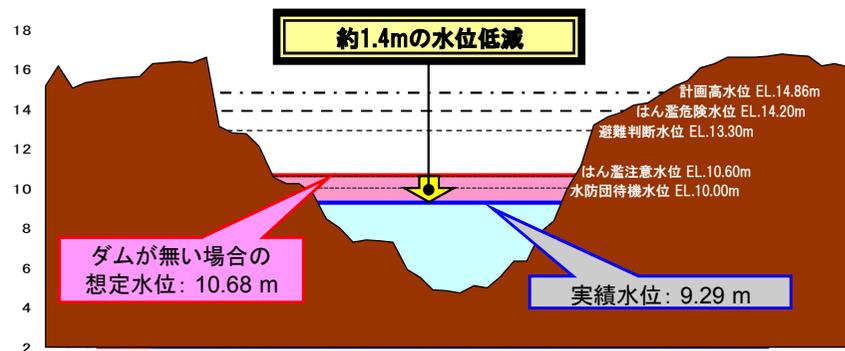
位置図



桂沢ダムの防災操作



西川向水位観測所における水位低減効果



※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。